

美術教育における共通事項の教材について

福田 隆眞・阿部 萌*

On the Learning Materials of “common matters” in School Art Education

FUKUDA Takamasa and ABE Moe*

(Received August 6, 2012)

キーワード：美術教育、学習指導要領、視覚言語、教材

はじめに

平成20年公布の小学校学習指導要領図画工作科及び中学校学習指導要領美術科においては、新たに〔共通事項〕が設定された。本稿は、この共通事項が教材としてどのように反映されているかを、図画工作、美術の教科書を基に分析し、教材における共通事項の内容的理解を深めるものである。

1. 美術教育と共通事項

教育課程の改訂を受けて、平成20年に学習指導要領も改訂された。そこで小学校図画工作科・中学校美術科では、従来の「A表現」、「B鑑賞」の2領域に加え、新たに「共通事項」が新設されることとなった。共通事項は小学校図画工作科、中学校美術科において領域や項目などを通して共通に働く資質や能力を整理し示したもので、色や形による造形要素と造形原理からなる視覚言語によってイメージを豊かにすることを促している。以下、小学校と中学校の共通事項について述べる。

1-1 小学校図画工作科での共通事項

小学校図画工作科の学習指導要領では共通事項が次のように示されている。第1学年及び第2学年では、「ア 自分の感覚や活動を通して、形や色などをとらえること。イ 形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。」としている。第3学年及び第4学年では「ア 自分の感覚や活動を通して、形や色、組合せなどの感じをとらえること。イ 形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつこと。」となっている。さらに第5学年及び第6学年においては「ア 自分の感覚や活動を通して、形や色、動きや奥行きなどの造形的な特徴をとらえること。イ 形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつこと。」としている。

第1学年から第6学年までを通じて、図画工作の表現媒体である造形要素の色や形と自分のイメージを結びつけるための方法として、視覚言語との関連を段階的に取り扱っているといえる。感覚を通して捉えるということは、視覚による色や形だけでなく、触覚や皮膚感覚による材質感や湿度のような空気の感覚や雰囲気までも捉えようとすることである。

1-2 中学校美術科での共通事項

次に、中学校美術科での共通事項は第1学年から第3学年まで全学年共通で「ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらがもたらす感情を理解すること。イ 形や色彩の特徴などを基に、対象のイメージをとらえること。」と定めている。また学習指導要領解説美術編によると「共通事項は、形や色彩、材料など

*山口大学大学院教育学研究科美術教育専修

の性質や、それらがもたらす感情を理解したり、対象のイメージをとらえたりするなどの資質や能力を育成し、表現や鑑賞の能力を高めることをねらいとして設けたものである。これらは、表現及び鑑賞の学習の基盤となるものであり、すべての学習活動において共通に指導する事項である。」とある。

形や色彩、材料、光などの性質を理解し、それらがもたらすイメージの形成を、表現と鑑賞の領域で促すことが共通事項の目的である。

2. 小学校図画工作科の教科書題材

小学校図画工作科の教科書では、発達段階や興味に応じた題材が選ばれ系統的にまとめられている。また、コミュニケーション能力の育成のために、言語活動を重視することが提唱されているが、言語活動のための観点としても共通事項は位置づけられているといえる。ここでは、小学校図画工作の教科書に具体化されている教材、題材を紹介し、そこにおける視覚言語の内容を分析する。

2-1 日本文教出版 図画工作1・2上 かんじたことを

- ・おひさまにここに・・・ 色、形
- ・すきなものなあに・・・ 鑑賞
- ・みんなでかざろう・・・ 色、形、模様、左右対称、切り方、折り方の工夫、装飾、
- ・すなやつちとなかよし・・・ 形、テクスチャ、造形遊び
- ・ねんどでつみき・・・ 形、積み重ねる
- ・どんなかたちのかみにも・・・ 形、色、イメージ
- ・おってたててゆめのまち・・・ 形、折る、イメージ
- ・クッキーやさんになろう・・・ 形、色、並べる
- ・ドアのむこうに・・・ イメージ、折り方の工夫
- ・ならべてつんで・・・ 形、色、並べる、積む
- ・かたちからうまれたよ・・・ 形、色、テクスチャ、イメージ、組合せ
- ・かげをうつして・・・ 形、鑑賞、陰影
- ・プレゼントをどうぞ・・・ 装飾
- ・どうぶつさんだいすき・・・ 形、テクスチャ、イメージ、立体感、ボリューム、つまむ
- ・いろいろペッタン・・・ 形、色、イメージ、スタンプング、テクスチャ
- ・かんじたことおもったこと・・・ イメージ
- ・なにになるかな・・・ 形、色、イメージ
- ・のってみたいな・・・ 想像
- ・ニョキニョキとびだせ・・・ 動く仕組み
- ・はこのなかまたち・・・ 組合せ、材料の工夫、積む、並べる
- ・おはなしだいすき・・・ 色、想像
- ・コロコロゆらゆら・・・ 動く仕組み、装飾

2-2 日本文教出版 図画工作1・2下 おもったことを

- ・見つけたよいいかんじ・・・ 材料の工夫
- ・ぼうしをかぶって・・・ 装飾
- ・大きなかみで・・・ 共同制作
- ・ねん土をギュッポン・・・ 型抜き、形
- ・ワクワクがっき・・・ 材料の工夫、装飾
- ・たのしいことみつけた・・・ 画面構成、イメージ
- ・まどをひらいて・・・ 形、切る、想像
- ・どうぶつさんのおうち・・・ 材料の工夫、想像、
- ・ひかりのプレゼント・・・ 形、色
- ・スルスルメカでビューン・・・ 動く仕組み、想像

- ・ケーキやさん・・・ 形、色、イメージ、装飾
- ・ならべてつないでつつんで・・・ 形、色、つなぐ、並べる
- ・ふしぎなたまご・・・ 想像、模様
- ・ふくろちゃん・・・ 形、縛る
- ・大すきなたからもの・・・ 鑑賞、並べる、装飾
- ・みんなのおうち・・・ 想像、形、色
- ・つくってあそぼう・・・ 組合せ
- ・うつしてみると・・・ 画面構成、ステンシル
- ・つないでどンドン・・・ つなぐ、並べる
- ・ストローピョコパタ・・・ 動く仕組み
- ・おはなし大すき・・・ 想像

2-3 日本文教出版 図画工作3・4上 よさを見つけて

- ・大すき自分の線と色・・・ 線、色
- ・楽しくつかおう・・・ 工作、色、カラフル、イメージ
- ・広がれつながら・・・ 造形遊び、形、色、カラフル
- ・こんなことがあったら・・・ 想像、テクスチャ、スクラッチング
- ・切ってけずって・・・ 立体表現、有機的
- ・ふわりクルクル風パワー・・・ 工作、形、構造
- ・光を通して・・・ 造形遊び、透過性、材料、コラージュ
- ・ガラスびんのへんしん・・・ 立体表現、色、形、貼りつける
- ・トントンサクサク木の名人・・・ 工作、木工
- ・アートたんけんたい・・・ 形、鑑賞
- ・あのときをわすれない・・・ 形、色
- ・自ぜんからのおくりもの・・・ 造形遊び、並べる、重ねる
- ・クルクルメカでクルリン・・・ しかけ絵、動き
- ・ゴムの力でトコトコ・・・ 工作、動き
- ・虫さんランド・・・ イメージ
- ・ものがたりのせかい・・・ 想像
- ・クミクミックス・・・ 造形遊び、形、組合せ
- ・やさしいモンスター・・・ 立体表現、想像
- ・はんをつかって・・・ 版画

2-4 日本文教出版 図画工作3・4下 ちがいをみとめて

- ・形や色を楽しもう・・・ 形、色
- ・すてきなペーパーショップ・・・ 色、模様
- ・ぬのでかざろう・・・ 装飾、結ぶ、巻く
- ・ねん土のひもから・・・ 巻く、形
- ・コロコロガーレ・・・ 材料の工夫、形
- ・ぬのにえがいたら・・・ テクスチャ、水分量
- ・紙と水のまほう・・・ 形、丸める、ねじる
- ・切って切って木の世界・・・ 切る、色
- ・ゆめのれいぞう庫・・・ イメージ、切る、折る
- ・光でうつし出す世界・・・ 光、影、イメージ、映す
- ・走れドリームカー・・・ 形、色
- ・ここにはきつといるよ・・・ イメージ、鑑賞
- ・心にのこったそのことを・・・ 構図、表現
- ・つないでいくと・・・ つなぐ、形、組合せ、素材

- ・とび出すメッセージ・・・ 飛び出す、切る、折る
- ・ゆめの世界のゆめの家・・・ 組合せ、装飾、イメージ、色、形
- ・いつもの場所がへんしん・・・ 材料の工夫
- ・絵と言葉で表そう・・・ 表現の工夫、構成
- ・物語の世界・・・ 想像、形、色
- ・べんりなマイボックス・・・ 素材の特徴を生かす
- ・それ行けたんけんたい・・・ 想像
- ・ほってすって・・・ 彫る、色、形

2-5 日本文教出版 図画工作5・6上 心を通わせて

- ・風が見えたら・・・ 想像、材料の選択・工夫
- ・ねん土の板から・・・ 想像、形
- ・感じたことを伝えたい・・・ 構図、表現、材料の選択、想像
- ・板を切りぬいて・・・ 形の工夫、組合せ
- ・え？名前で絵・・・ 形、色の工夫、線の太さ
- ・お気に入り研究所・・・ 鑑賞
- ・気持ちを表す形や色・・・ 形や色で表現、線の強弱、材料の選択
- ・タワーをたてよう・・・ 曲げる、ねじる、装飾
- ・楽しく美しく伝えよう・・・ 表現の工夫、組合せ
- ・土から始めよう・・・ テクスチャ、色
- ・ぬのから生まれた形・・・ 形、しぼる、組合せ
- ・アレ？コレ、ナニ？・・・ 意外性、大きさ、形
- ・アニメーションをつくろう・・・ 動き、形、場面の变化
- ・線を集めて・・・ 形、線、つなぎ方、材料の工夫
- ・想ぞうのつばさを広げて・・・ 想像、構成
- ・不思議な絵・・・ 鑑賞、見え方

2-6 日本文教出版 図画工作5・6下 伝え合って

- ・身近な環境で・・・ 材料の工夫、形
- ・心にうかぶ夢の世界・・・ 想像、材料の選択、組合せ
- ・わたしの小さな部屋・・・ 想像
- ・表し方をくふうして・・・ 構図、視点の違い
- ・どんな動きをするのかな・・・ 動く仕組み
- ・心の中の美術館・・・ 形、色、鑑賞
- ・取り出した形・・・ 削る、磨く、形、
- ・板から何が・・・ 木取り、接合の工夫
- ・表現にこめた思い・・・ 鑑賞、形、色、想像
- ・墨から感じる形や色・・・ 形、色、水分量
- ・かたまった形・・・ 形、立体感
- ・光のハーモニー・・・ 空間の演出、色の重なり
- ・想像のつばさを広げて・・・ 想像、画面構成
- ・織る、編む、組む・・・ 伝統工芸、形、色、材料の工夫
- ・12年後のわたし・・・ 想像、立体表現
- ・チャレンジ！ボールコースター・・・ 材料の組合せ、形、色
- ・ドリームプラン・・・ イメージ、デザイン
- ・板を生かして・・・ 彫り方、刷り方、材料の工夫、色の重なり
- ・味わってみよう、日本の美術・・・ 鑑賞、想像

3. 中学校美術科の教科書題材

中学校美術科の教科書では、それぞれの題材や副題に、共通事項にある「色」「形」「イメージ」という言葉が使用されており、生徒たちにも意識させるようになっている。以下に教科書の目次を挙げる。網かけ部分が共通事項に対応する言葉である。また、教科書本文中でも意識的に「イメージ」という言葉が用いられたり色や形についての説明がなされたりしている。全体を通じて造形要素と造形原理を意識した題材構成となっている。

3-1 日本文教出版 美術1 美術との出会い

〈オリエンテーション〉美術との出会い

- 序 - 感じる心があるから…

I みる・感じる・つくる

感じたことをそのままに - 身近なものから感じ取ったことを自由に表そう

いろいろなスケッチ - 知る、考える、伝える

自然の形や色 - 自然物の特徴や美しさをもとにして

自然の表情 - 空の変化や風の気配を感じて

小さな生命(いのち)を見つめて - 身近な動植物を観察して表そう

顔をつくる - さまざまな材料や技法を使って

II 生きる豊かさ・伝え合う楽しさ

使いやすさを求めて - 暮らしを快適にするデザインを考えよう

遊び心 - 人の心をくすぐるような遊び心の形

文字や形で伝える - 形や色で伝える工夫を考えよう

楽しく伝える - 笑顔を引き出すデザインの工夫

手でつくる心 - 木の温もりと優しさを感じて

土と炎の造形 - 生活の中で使える焼き物をつくろう

作品や人との出会いの場 美術館へ行ってみよう！

III 世界の広がり・歴史の奥行き

残された造形 - 古代の造形が語りかけるもの

「和風」を味わう - 暮らしに生かす日本の形や色

アジアの多様な美術 - 鮮やかな形と色彩の世界に触れよう

光の美しさを求めて - 自然の光を感じて表そう

巻末資料

色を学ぶ

色の性質

日本の色づかい

いろいろな技法を用いて

造形ギャラリー 環境を演出するアートたち - パブリックアートへの誘い -

3-2 日本文教出版 美術2・3上 生活の中に生きる美術

〈オリエンテーション〉生活の中に生きる美術

I 「つながり」のかたち

身近な人を見つめて - 思いを込めて対象を表そう

私との対話 - 表すことで見えてくる自分自身

投影された私 - いろいろな自画像にチャレンジしよう

風景に思いを込めて - 身近な風景を見つめ、表そう

思いを立体で - 材料の特徴を生かして表そう

II 「生きる」かたち

装いを楽しむ - 衣装に込める思いや願い
生活を彩るデザイン - 用と美の調和を考えて
手でつくる楽しみ - 用途に応じた材料を選んでつくろう
日本の美意識 - 四季を愛でる心、もてなす心
墨が生み出す豊かな世界 - さまざまな墨の表現を学び、表そう
心触れ合う場 - 公共空間をデザインしよう
心に響く形や色 - 生活を豊かにする装飾の工夫
生きるためのデザイン 転がる水

III 「伝え合う」かたち

わかりやすく伝えるデザイン - 図や記号で効果的に表そう
「伝える」をつくる - 効果的に伝える工夫をしよう
「まとめる」方法と工夫 - 伝える効果を考えたデザインをしよう
個性が響き合う造形 - 心を合わせてつくる楽しさ

巻末資料

写真撮影の第一歩

時代の流れの中で変化するデザイン

木工の技法・水墨画の技法

造形ギャラリー 受けつぎつくる人の姿 - 手仕事から生まれる美と技 -

3-3 日本文教出版 美術2・3下 社会に広がる美術

<オリエンテーション>社会へ広がる美術

I イメージの力

息づく生命(いのち)を感じて - 心に浮かんだイメージを表そう
あふれ出る躍動感 - 動きの中に美をとらえて
イメージの変容 - 制作上の試行錯誤
想像の世界への飛翔 - 自由な発想でイメージを表そう
だまされる楽しさ - 錯覚を利用した不思議な世界
版表現の豊かさ - 版の特性を生かして表そう
新鮮な見方で - 日常の情景に心をとめて

II 社会の中で

平和への願い - 形や色に思いを託して
メッセージを表す - 社会の問題を美術を通してとらえよう
自然と共に生きる - 自然環境に優しい造形
感動の共有 - 日常の世界を新鮮なものに
街の中に息づくアート - 人と人とのかかわりを生み出す造形
空間の演出 - 人と場をつなぐ形や色
社会を元気にする美術の力 アート・イベントに出かけよう！

III 文化 受けつぎ・つくる

祈りの形 - 自分の思いを託して表そう
世界を魅了したきらめき - 金色の効果を用いた表現を味わおう
アジアの新しい風 - 現代のアジアの表現に触れよう
受けつがれる形 - 自然とのつながりから生まれた造形
文化遺産を守る - 美しい形や色彩を未来へ残そう

巻末資料

金属でつくる

日本美術の展開と世界との交流

造形ギャラリー 「ゲルニカ」は語る - 大作に挑むピカソの思い -

4. 共通事項の内容について

以上見てきたように、図画工作、美術の教科書においては、色と形をはじめとする視覚言語の内容が分かりやすく採り上げられている。視覚言語は造形表現のための方法であり、また作品の受容や鑑賞のための方法のひとつである。その意味で視覚言語は美術教育の基盤である。以下に、共通事項の特色が表れている具体的な題材を採り上げる。

4-1 小学校図画工作における題材例

(1) 小学校図画工作3・4上「ざいりょうからひらめき」



この題材は、色々な材料を集めて絵を描く内容である。材料としては、布、綿、スポンジ、包装紙、ボタン、毛糸などの身近なものを集め、それらを利用して絵にすることで材料からのイメージを育むものである。たとえば、綿を使って雲を表現したり、毛糸を使ってやわらかい輪郭を表現したりする。これらは、材料体験を重視する造形遊びとも関連している。



図1(左) 図画工作3・4学年教材「ざいりょうからひらめき」
図2(右) 図画工作3・4学年教材 部分

(2) 小学校図画工作3・4下「光でうつし出す世界」



この題材は、造形要素としての光を扱っている。OHPやプロジェクタの光を使い、透けて見えるものや影になるものを組み合わせることができる。絵の具や色紙で表現できない光の特質を利用するものである。現代社会では光を基にした映像表現が日常生活で増えている。現代の視覚的環境の中で造形表現の可能性を試みる題材である。



図3(左) 図画工作3・4学年教材「光でうつし出す世界」
図4(右) 図画工作3・4学年教材 部分

(3) 小学校図画工作5・6上「土から始めよう」

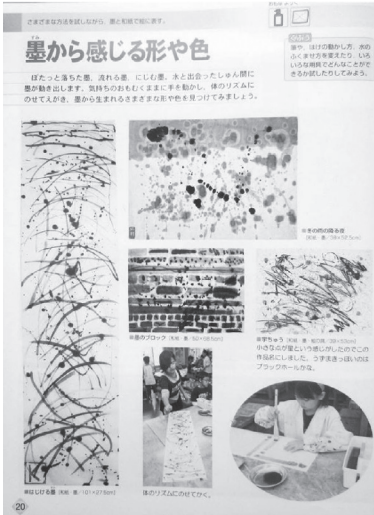


この題材は、直接、土に触り、土を絵の具にして厚手の紙に画面を作って発想を広げるものである。絵の具との違いは、指で直接土に触り、手や指の直接的な感触や動きで表現するところである。造形要素の材質感を体感し、イメージを広げる題材である。



図5(左) 図画工作5・6学年教材「土から始めよう」
図6(右) 図画工作5・6学年教材 部分

(4) 小学校5・6下「墨から感じる形や色」



この題材は、墨の特質である「にじみ」や「流れ」を利用した水墨画の破墨や滲墨を体験するものである。水墨画の特質を知ることによって、日本的な表現を知ることができる。造形要素の色や形に日本的な特色をもつものがある。また、腕や手の動きによって自由な線を表現することができ、造形遊びとの関連も含まれている。

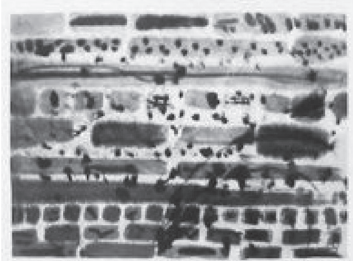


図7(左) 図画工作5・6学年教材「墨から感じる形や色」
図8(右) 図画工作5・6学年教材 部分

4-2 中学校美術科における題材例

(1) 中学校美術1「感じる心があるから…」



この題材は自然や材料、色彩などを見てイメージをもつなど、感じ取る力を育むものである。また、その内容について話し合うなどの活動を行う美術科の導入的内容である。特に図の部分では色鮮やかな毛糸や、飴など、生活の中で身近にある形や色彩を紹介しており、受ける印象や表情について語り合うことができる。

また、カメラで撮影することによってうまれる面白さ、新鮮さについても触れ、日常生活の中でも色や形を意識するよう促すものとなっている。



図9(左) 美術1学年教材「感じる心があるから」
図10(右) 美術1学年教材 部分

(2) 中学校美術1「自然の形や色 - 自然物の特徴や美しさをもとにして -」



この題材は、自然物を観察し、形や色の特徴や美しさを基に発想を広げるものである。内容としては、平面構成や自然の造形美を活かした工芸品の鑑賞となっており、伝統的な作品からも自然物の曲線や規則正しい秩序を見つけることができる。季節感などの日本的な特徴も踏まえた作品づくりができるよう、参考写真や参考作品が工夫されている題材である。

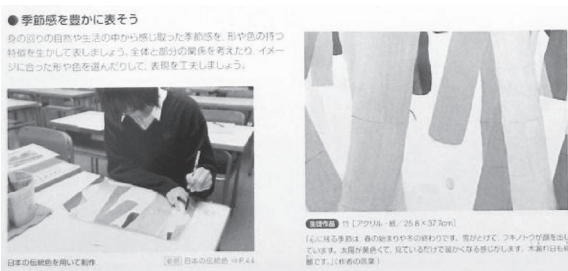


図11(左) 美術1学年教材「自然の形や色」
図12(右) 美術1学年教材 部分

(3) 中学校美術 2・3 上「日本の美意識 - 四季を愛でる心、もてなす心 -」



この題材は、紙粘土や合成樹脂などを用いて和菓子をつくるというもので、四季折々の草花などの形や色のイメージをもとに発想を広げ、制作するものである。実際の和菓子のデザインには四季の情景や季節を表す花などをもとにしたものが多くあるということを踏まえ、日本の伝統的な美意識を表現に生かすようにしている。また造形要素である形や色、材質感を「涼しげな雰囲気」「華やかな感じ」などといった個々のイメージと結びつけることができる。



図13(左) 美術 2・3 学年教材「日本の美意識」
図14(右) 美術 2・3 学年教材 部分

(4) 中学校美術 2・3 下「新鮮な見方で - 日常の情景に心をとめて -」



この題材は、構図や画面構成を考えるものである。視点や構図を変えることによって日常で見慣れたものも新鮮に見える。構図によってうまれる奥行きや遠近感に気付いたり、見方を変えることで生まれる新たなイメージを発見したりすることで、豊かな発想を促す題材である。



図15(左) 美術 2・3 学年教材「新鮮な見方で」
図16(右) 美術 2・3 学年教材 部分

5. 共通事項と視覚言語

小・中学校での美術教育での共通事項は、20世紀初頭のバウハウス等で試行錯誤、体系化された視覚言語と類似した機能をもつものである。バウハウスでの視覚言語は専門家を対象としたデザイン教育のための造形創造の方法であった。そして、そこでの視覚言語は、デザインの国際様式を意図していた。その後、視覚言語の考え方は小・中学校の美術教育にも採用され、教育的な役割としての視覚言語が開発された。戦前の構成教育運動、戦後のデザイン教育がそれである。視覚言語の内容を発達段階と関連させて設定したのが共通事項であると考えられる。したがって、造形要素や造形原理が完成された体系を意識するのではなく、発達に応じて造形要素と造形原理を柔軟に適用することが重要である。

例えば、小学校低学年においては、素材や材料に直接触れる感覚的な理解を促す色や形、イメージの方法がある。さらに小学校中学年では、感覚的に得られた内容を知性と結びつける感性的な視覚言語が想定される。そして小学校高学年では、知的発達が進むことで、知性による理解が深まる。このように考えると、小学校図画工作における共通事項は視覚言語の体験によるイメージの形成を促す内容と捉えられる。

さらに、中学校美術科においては知的理解が完成されたことを前提に、我が国の歴史や伝統と視覚言語の関連が共通事項のひとつとして想定できる。前述の教材例のように日本文化の特徴の中に視覚言語を見出すことができる。国際様式として開発された視覚言語だけでなく、固有の文化のなかに見られる造形要素や造

形原理の存在を意識させるものである。例えば、琳派の絵画においては平面性の強調、多視点による並置方法、形の象徴化、単純化、色彩の強調といった西洋絵画には見られない特徴を視覚言語として捉えることができる。また、水墨画においては、にじみやぼかしのような自然風土と結びついた表現技法が見られる。そこには、固有の視覚言語の存在が認められる。

小・中学校に導入された共通事項は視覚言語を媒介とし、色や形、イメージの段階的発達と表現の多様性、さらには伝統文化の理解といった美術教育の多様な領域と関連している。表現と鑑賞における基盤となる内容である。

参考文献

- 福田隆眞：「共通事項がわかる：視覚言語の活用とイメージの形成」『造形ジャーナルvol.406』，開隆堂，2009.
- 金香美・福田隆眞・佐々木宰：「日本の美術教育の新しい教育課程と韓国への示唆」『山口大学教育学部附属教育実践総合センター研究紀要第30号』，2010.
- 日本児童美術研究会『ずがこうさく1・2上 かんじたことを』，日本文教出版，2010.
- 日本児童美術研究会『ずがこうさく1・2下 おもったことを』，日本文教出版，2010.
- 日本児童美術研究会『図画工作3・4上 よさを見つけて』，日本文教出版，2010.
- 日本児童美術研究会『図画工作3・4下 ちがいをみとめて』，日本文教出版，2010.
- 日本児童美術研究会『図画工作5・6上 心を通わせて』，日本文教出版，2010.
- 日本児童美術研究会『図画工作5・6下 伝え合って』，日本文教出版，2010.
- 花篤實ほか監修『美術1 美術との出会い』，日本文教出版，2011.
- 花篤實ほか監修『美術2・3上 生活の中に生きる美術』，日本文教出版，2011.
- 花篤實ほか監修『美術2・3下 社会に広がる美術』，日本文教出版，2011.

付記

本稿の執筆に当たり、1を福田、2を山口大学教育学部美術教育選修4年、池田愛の協力を基に阿部と福田、3を阿部、4を池田の協力の基に阿部が担当、5を福田、阿部がまとめた。